

あいあいつうしん

№. 476
2017 (平成29)
12. 7

編集 京都ライトハウス
視覚支援 あいあい教室
TEL : 075-462-4462
FAX : 075-462-4464
aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

年々、秋から冬への移り変わりが瞬く間に感じるのは気のせいでしょうか。キュンとした寒空の下、ひといきに染まった紅葉や銀杏の美しい葉も一斉に落ちて、気づけばもうすっかり冬の景色が広がっています。雲一つない澄みきった空気が凜として漂い、夜の終わりが静かに過ぎていく季節。夜が明ける頃には、深く穏やかな瑠璃色の空が輝いて、明日へ向かう心にやさしくつよく光がさしてきます。

教室の中は、近づくクリスマスの雰囲気心躍る子どもたちの笑顔でいっぱい。師走の空に終わりゆく一年を想い、皆さんにきらめく新年が訪れることを願って、今月のつうしんをお届けします。

12月の予定

23日 (土・祝) クリスマス会
(10:00~14:00 / 4階 あけぼのホール)

27日 (水) ~ 1月4日 (木) 通園冬休み



- ※12月中に教室の大掃除をします。保護者の皆さまのご協力をお願いします。
- ※12月29日 (金) ~ 1月3日 (水) の間、ライトハウスは休館になります。
- ※ 新年の通園は、1月5日 (金) から始まります。

ライトハウスの行事

第43回視覚障害者福祉啓発事業「あい・らぶ・ふえあ」

遊んでワクワク! 知ってナットク! ~見えない・見えにくい人たちとともに~

<日程> 2018年1月25日 (木) ~ 28日 (日) 10:00~18:00
(最終日は17:00まで)

<会場> 大丸京都店 6階 イベントホール

- ★1月26日 (金) 10:30~ 京都府立盲学校の子どもたちによる歌と演奏
- ★1月28日 (日) 10:30~ DJ 谷口キヨコさん, シンガーソングライター 原田博行さんによるスペシャルトーク&弾き語り

おたんじょうび おめでとう！12月うまれのおともだち

K さん(訪問組)

3歳になります

この頃、ドーナツの玩具やシール貼りがお気に入りのKくん。「せんせ(ドーナツ) どーぞ！」「もっとする！」とお喋りしては、いつも期待いっぱい！最初は慣れなかった眼鏡も掛けられるようになって、ますます好奇心が膨らんできたKくん。元気いっぱいの力で、これからも思いっきり楽しく遊ぼうね！

A さん

5歳になります

いろんなことに興味しんしん！でも初めは「こわくない？」とみんなの様子を見ているAちゃん。お友だちや先生が大好きで、一緒に遊ぶうちに…やる気いっぱい、笑顔いっぱいに変身！スイートポテトやクリスマスのお飾りも作ったね。これからも一緒にたくさん遊んで、笑って、いろんな経験を積み重ねていこうね！

C さん

5歳になります

お友だちとテラスの枝豆を獲って茹でたり、工作をしたり、お手伝いもやる気まんまんで、いろんなことに張りきっているCちゃん。負けたくない気持ちで、ちょっと苦手なことも頑張り抜くお姉さんだね。そんな芯の強さがすてきなCちゃん。輝く力で、これからも自分らしく勇気と自信を持っていこうね！

S さん

6歳になります

「おはようー！」と、いつも元気いっぱい登園するSちゃん。大好きなテラスはもちろん、この頃はマジックテープで遊ぶのもお気に入りだね。「できたー！」「楽しかったね」と先生に嬉しそうに伝える姿が、ますます増えてきたSちゃん。そのすてきな笑顔を、これからもたくさん輝かせていこうね。

H さん

6歳になります

この前、折り紙を三角や四角に折って、「Hのおうち」を作りました。おうちの横には、バスとガレージも描いて、できあがったときは満面の笑顔でしたね。最近は「Hもやってみる！」と、言うことが増えてきました。いろいろなことに自信がついてきたHくんです！

Ｊさん

6歳になります

お名前呼びでうれしそうに「ウー」とお返事をするＪくん。大好きなアンパンマン紙芝居はいつも期待一杯で見えています。久しぶりのあいあい号でセキスイテープのトンネルをくぐったときには、笑顔で楽しんでいたね。ちょっとドキドキすることにもチャレンジできるＪくん、とってもかっこいいね。

Ｅさん

6歳になります

いつも元気いっぱいＥちゃん。みんなでおにぎり作りをしたときは、ラップで大きいおにぎりを力いっぱいギュッギュッと丸めました。とてもおいしかったね！友だちと一緒に遊ぶのが、大好きなＥちゃん。「Ｅちゃんも！」と、やりたいことが、あふれているね！

Ｍさん

7歳になります

枝豆やニンジンの観察では、先生と「どんな様子かな？」と期待を持って取りくんだＭくん。字を書くのもグンと上手になりました。最近では、単眼鏡を使う練習もがんばっているね。1年生になって、ますますお兄さんパワーがついてきたＭくん。宝物のようなその力、これからも思いきり伸ばしていこうね！



保護者・職員共催行事

クリスマス会のご案内



- <日 時> 12月23日（土・祝）10：00～14：00
<会 場> ライトハウス4階 あげぼのホール
<内 容> キャンドルサービス，“あいあいバンド”による演奏，
お父さんたちの出し物，サンタさんからのプレゼント，会食，
職員の出し物，お楽しみ抽選会

- ◆資源節約の為、食事道具（お箸，スプーン，フォーク等）、コップ、取り皿は各自でご持参ください。
- ◆会食時の配膳等、皆さまのご協力をお願いいたします。
- ◆駐車スペースに限りがある為、可能な方は公共交通機関でお越しください。

家族の皆さんで、ぜひご参加くださいね。

ともだち紹介 その1

5さいだよ

A さんの巻

こんにちは。今年の4月からあいあい教室にお世話になっているAです。保育所と並行通園で通っています。Aはゴーハム病という超希少難病の持病があります。確立された治療法がまだなく、病状に合わせてその都度対応していく日々を過ごしています。目については1才くらいに黒目が内側を向いているなあ〜と気になり眼科受診しましたが、まだ小さいので視力検査ができないから3才になったら来てと言われ、3才になりすぐに受診し、強度の遠視と右目に乱視があると言われ矯正メガネをするようになりました。初めはすぐにメガネを外してしまうこともありましたが、今ではメガネがないと「メガネする！」と自分からメガネをするようになり、すっかりメガネ男子です。生後2年間入院加療していた影響もあり同世代の子どもとの関わりが苦手で、あいあい教室に通い始めた4月当初は毎週「あいあいさん行かない〜」と半ベそをかいていましたが、今ではお友達の名前も覚えて、「〇〇ちゃんと遊んだ！△△先生スキ♥」とあいあい教室に行くのを楽しみにしています。

あいあい教室で色々な経験をさせてもらい、お友達や先生とたくさん遊んで楽しい毎日を過ごしていけたらと思っています。みなさん、これからもよろしくお願ひします。

母

今ではすっぴんのびのび！楽しさいっぱいの笑顔とお喋りで、あいあいを満喫しているね。陽気で人なつっこいその雰囲気、思わずみんなニコニコ♪明るくて優しい…魅力いっぱいのAちゃんパワー、一緒に大きく育てていこうね！

ともだち紹介 その2

6さいだよ

E さんの巻

今年6月から月に1～2回通っています、Eです。1歳からひよこクラブに時々気ままに顔を出していましたが、ライトハウスまでの距離を何往復もする自信がなく、就学を来春に控えて色々悩みもあり、ようやく覚悟を決めた次第です。

Eはお腹にいた時からすでに排尿障害があり、尿が腎臓に逆流していて、水腎症しようや腎盂腎炎じんうじんえんで生後1ヵ月間NICUで過ごしました。今も1日5～6回導尿（カテーテルを尿道に挿し、尿を抜く医療的ケア）が必要です。また、発達の遅れも早くから指摘され、こども発達支援センターの理学療法を皮切りに、生後8ヵ月か

ら種々のリハビリや療育を継続してきました。眼についても1歳足らずで調節性内斜視と診断され眼科に通ったのですが、途中本人が検査を拒否して眼を開けない時期があり、長らく診察をお休みしていたり、医師に「とりあえず眼鏡は要らない。できる範囲でアイパッチして下さい」と言われていただけの期間も長かったので、放置していてもまあ何とかなるんだろうと勝手に思い込んでいました。実際、普段の生活で見え方に不安を感じることもほぼなく、また正直なところそれ以外の心配事で日々手一杯だったこともあり、眼のことが後回しになっていたことは否めません。4歳になってようやく眼鏡を作ったのですが、つい最近までほとんど掛けられずにいて、親にも本人にも自覚が足りなかったがゆえに、気づけば視力は0.3…。

多方面で中途半端に支援が必要な子ですが、昨年度から幼稚園に行くようになって飛躍的に成長したと思うし、小学校も無理を承知で地域の通常級にと考えています。あいあい教室で相談にのってもらったり、丁寧に関わってもらったりしながら、残り数カ月、親子共々楽しく通いたいと思っています。よろしく願いします。

母

6月から通園が始まったEちゃん。あいあいの先生や友だちにも、すぐに慣れましたね。工作や虫の観察など、どんなことにも興味しんしんです。これからも、いろいろなことを経験していこうね！

11月 あいあい療育風景 ー秋野菜の収穫 & 公園遊びー

9月初めに種まきしたプランターのピッコロ人参とミニ大根。雨の影響で豊作とはいかなかったのですが、葉っぱも立派な教材です。一緒によく見て触って、葉っぱの違いや、土に植わっている状態を確認。最後は「えいっ！」と引っこ抜く手応えに、思わず笑顔の子どもたちでした。年中、年長、学童のメンバーは、



船岡山でどんぐり拾い

茹で大根やお吸い物作りも楽しみましたよ！

収穫が一段落したら、秋の公園へ。近くの楽只公園や船岡山公園に出掛け、階段や外を歩いたり、遊具や砂場遊び、どんぐりや落ち葉拾い、かけっこ（音源走）など、それぞれのグループに応じた活動を元気いっぱい楽しみました。

年長児 お父さんからのメッセージ



その8 S さんのお父さん

いつもお世話になっております。Sがあいあい教室でお世話になるようになってはや5年、思い返せばあの当時は、Sが生まれてすぐ全盲だと知り、どう育てていけばいいのかわからず私も妻も途方に暮れておりました。そんな中であいあい教室の存在を知り、少しでもSのためになるのであればと藁わらにもすがる思いで訪ねたことを今でも覚えております。

人見知りが激しく好き嫌いの多かったSは、最初は大好きな音楽でさえ自分の知っている歌以外が流れると癩癩かんしゃくを起こし、一緒に料理をつくろうのイベントではエプロン・三角巾を着けたくないと駄々をこねておりました。そんなSに対してめげずに何度も繰り返し優しく接して頂いた先生方のおかげもあり、毎日少しずつ成長し、みんなの中に溶け込むことができるようになっていきました。また、私や妻もSのような子供たちと日々接点を持っている先生方やお父さんお母さん方のコミュニティの存在の心強さに何度も支えられてきました。

これまで私達を支えてくださった先生方並びに保護者の皆さま本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしく申し上げます。

その9 R さんのお父さん

いま、Rにとって超えなければいけない試練、それはオムツ外しです。モゾモゾしだしたら直ぐにトイレに連れて行き、「頑張れ～」と応援すると自力で出せるのですが、目を離すと椅子の下で屈みパンツかがにブリっとします。トイレに行くのが面倒臭いのか。パンツに出すのが気持ちいいのか。親の願いを尻目に気ままに今日も出しています。おしっこは更に難易度が高いようです。「きばる」のではなく、「開放」する方法がどうも分からないみたい。私がトイレで実演して見せても、なかなか仕方を言葉で伝えられません。お腹を押したり、「しゃーと出すよ」と言ってもピンとこない様子。びしょ濡れパンツが気持ち悪いのは分かっているみたいですが。上のお姉ちゃんの出来たことを、倍の時間をかけて乗り越えていくRですが、着実に成長してくれています。温かく見守りつつ奮闘する今日この頃です。

その10 H さん・J さんのお父さん

HとJの双子がお世話になっています。

自分は平日は仕事が忙しく、保育園の送り迎えや、療育の付き添いに行けないので、これまで二人の日々の活動ぶりをあまり見ることはできませんでした。そのため、あいあい教室に送り迎えをするようになって、そういった姿をはじめて見る事ができたような気がします。

Hはいつも楽しそうにお歌を歌ったりしており、Jもあいあい教室では、みんなの歌を聞いてご機嫌に過ごしている感じがします。また、あいあい教室に通うようになってからは、Hは「明日はあいあい教室のお友達とピブレに行くねん！」などと家でも教室のことをよくお話ししてくれたり、一緒に“トゥモロー”や“365日の紙飛行機”をお風呂に入りながら歌ったりと、あいあい教室は、父と子の生活のかけがえのない一部になっています。

これからもどうぞよろしくお願いします。



その11 F さんのお父さん

いつも大変Fがお世話になりありがとうございます。Fは生後4ヵ月で心臓の手術をし、こうじょうせん甲状腺機能低下症、少し落ち着いたと思いきや、また心臓に水が溜まったりと大変な時を過ごして来ました。生まれた頃から音に敏感で少しの物音で泣きわめき、これからどうなることやらと不安でした。新たに弱視と近視が見つかり、あいあい教室にお世話になる事になりました。Fが物を見やすいように指導して頂き、物事の判断や見通しが出来るようになり積極性も出て来るようになりました。最近では、少しずつですが言葉も出てくるようになり、『オンガク』と言って、自分の好きな音楽を聴きながら大好きな太鼓を合わせて叩いたり、大きな声で“おしりかじり虫”を歌いながら踊っている姿を見ると、あいあい教室でお世話になって本当に良かったと感謝しかありません！これからもFがFらしく成長して行けたらと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いします。

その12 E さんのお父さん

いきなりですが、いろいろな人（屁理屈へりくつこねる人、障害を持っている人、ニヒルな人、素直な人、テキトーな人）が同じ場所の空気を一緒に吸いながら生活することが大切よなあと思う。

ウチのEは導尿という医療的ケアが必要な子です、斜視&知的と体幹も…。そんなEも来年4月からはいよいよ小学校へ！今は昔、3年近く前に市との就学相談を始めました。なんでそんな早くから??でしょ。その理由は、うちの市では今まで医療的ケアの子が地域の園や学校に通うという前例がなかったからです。

前例がないちゅーことは、制度もシステムも現場の理解もゼ～ロ～。ないもんは作るしかない、でもどないすんねーん。方法わからんけど、とりあえず時間は掛かりそうやなど。この度、教育委員会からの答申が出るということで11月のある日、相方と行ってきました市役所へ。療育や幼稚園の先生方、委員会の偉いさん、親、保健師さんなど総勢12名が参集。

委員会→導尿もある、教育課程的にもついて行けないので支援学校です。

僕たち→導尿は生きている間必要なこと。教育課程について行けないのは百も承知。でも、障害のあるなしに関係なく、皆が（児童・教師・保護者の全員）共に学び合える環境が我が子にとってきっと一生の宝となると信じているんでーす。だから地域の学校の普通学級で学ばせてください。

委員会→Eちゃんにとって何が一番大切かを考えてもらって。最初が肝心ですよ。

僕たち→でも、一回やってみたいんです！健常の子たちには『やる前から出来ないって言うたらあかん、やってから言えー』って教えてるでしょう。だからみんなと同じスタートラインに立たしてもらえないですか？

委員会→うーん…。

僕たち→はあ、とりあえず終わった～。あーしんど。

障害を持った子がいる家族ってこんなしんどい目に遭ってるんやーがシンプルな感想。でも、こんな中で幾度となく励まされ心強く思ったことは、あいあいの先生方に出逢えたことです。とにかくこれでもかっという位話を聞いて下さるし、あいあいやって下さってることは家では絶対に出来ないこと。もっと早くお世話になっておけばと今更ながら思っています。お仕事とはいえ、本当に頭が下がります。卒園したら先生方と割り勘で呑みに行きたいぐらい感謝の気持ちで一杯です。Eも目のことは後回しになっていた感が否めないのですが、最近メガネかけたら見えるやんってなってきたので、この調子が続けばいいなあと思っています。最後に子供を守るのは親。子供は幸せになる権利があるし、親は子供を幸せにする義務があります。簡単なことではないけれど、周りの助けに支えられながら一つ一つ積み重ねていきたいと思えます。皆さん、一緒にがんばりましょう！ Thank you.

あとがき その、夜明けの空を見ながらよぎるのは、瑠璃色の地球(聖子ちゃんではなく、葵ちゃんのほう)のメロディ。静かな深い瑠璃色の空に、胸に染みいるように響いて離れないこの頃。

とだ ゆみこ

編集人 古川千鶴 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 社会福祉法人 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室 Tel:075-462-4462